

現状と課題(市民アンケートと市政世論調査結果から)

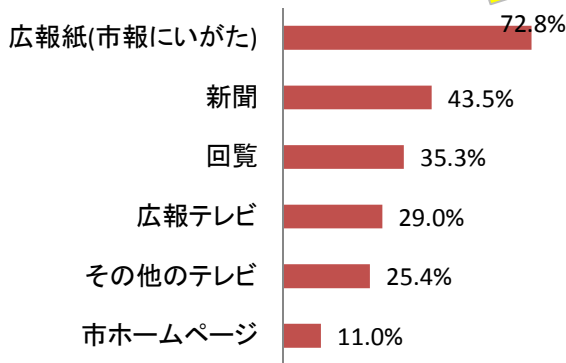
■ 市政情報の入手方法は、市報にいがたが最も多いことがわかりました(データ1)。しかし、市政以外の一般的な情報は、新聞やスマートフォンなどから得ていることが分かります(データ2)。年代別に見ると、新聞から市政以外の情報を得ている方は高齢者が多く、スマートフォン等などから得ている方は若者が多いことが分かります(データ3)。

■ テレビに関してはどの年代も平均して情報入手方法として活用し(データ3)、6割以上の方が毎日テレビを視聴しています(データ4)。

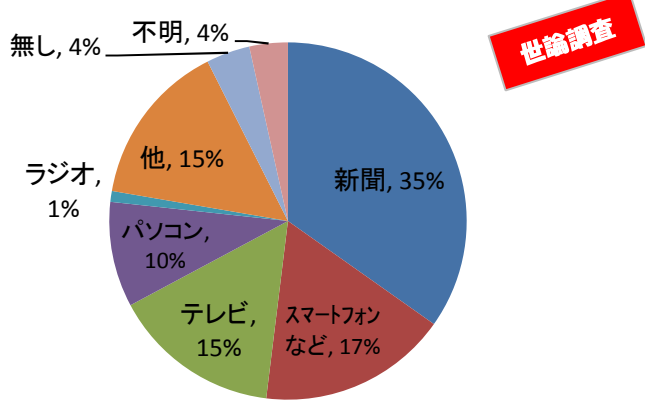
■ 市報にいがたの発行回数については、6割以上の方が現行より少ない回数でよいと考えています(データ5)。

■ これらのことから、市政情報入手手段として利用度の高い市報にいがたを適正な回数で発行しながら、年代に適した媒体を選ぶことが、より効果的な広報につながると考えられます。

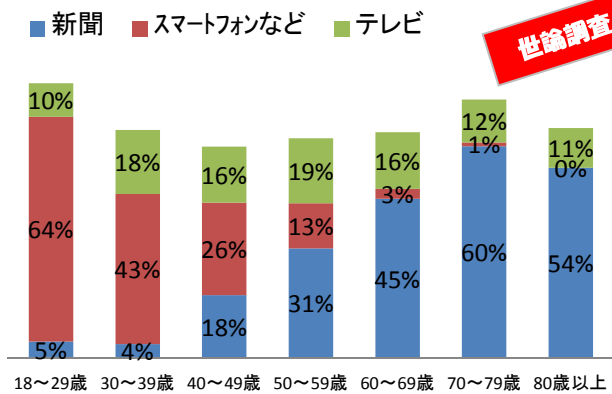
データ1 市政情報の入手方法 **アンケート**



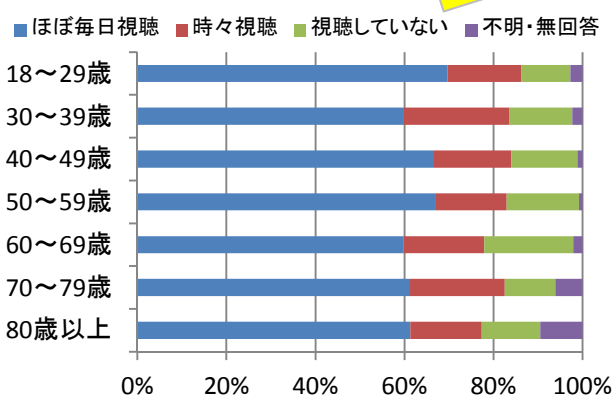
データ2 市政以外の情報の入手で最も良く利用するもの **世論調査**



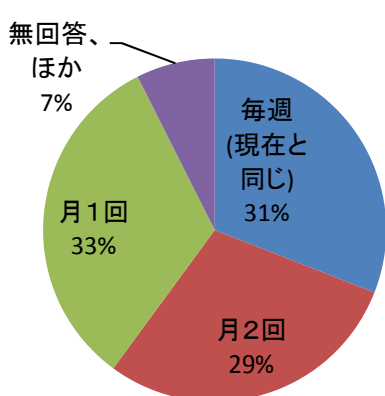
データ3 市政以外の情報の入手で最も良く利用するもの(年代別) **世論調査**



データ4 テレビの視聴頻度 **アンケート**



データ5 市報にいがたの希望発行回数 **アンケート**



・市民アンケート: H28年度新潟市の広報に関するアンケート(18歳以上の市民3,000人を層化二段無作為抽出, 郵送法)  
 ・市政世論調査: 第43回(H28年度)「市政世論調査」(18歳以上の市民4,000人を層化二段無作為抽出, 郵送法)